

ブックトープ
豊橋

まちを、
よむ。

日時 3. 3 1 **土** 15:00~16:30

場所 Café&gateaux knohd 豊橋市駅前大通1丁目111
カフェ&ガトー ノード

内容 水上ビルを舞台にした市民による**初**の小説集
「ブックトープ豊橋」朗読会
朗読：豊橋おはなしろうそくの会
小説の舞台となった水上ビルを知る
講師：岩瀬彰利（豊橋市中央図書館 司書）

定員 20名（抽選）
参加費 無料

「まちを本」にしてみよう。そんな発想から生まれたのが、「ブックトープ豊橋」です。
朗読する小説を書いたのは、豊橋市あるいは近隣に住む市民の方々です。
小説の舞台となったのは豊橋の名物建築「水上ビル」。
その不思議な世界観を表現した小説は一読の価値あり：



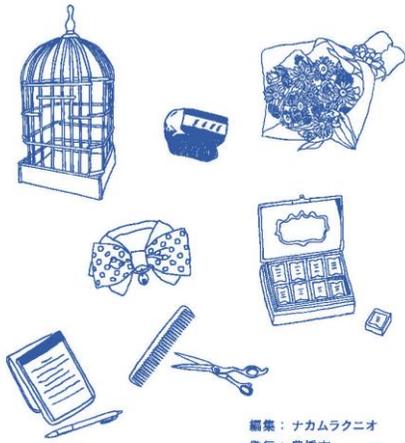
主催：豊橋市役所都市計画部まちなか図書館整備推進室、教育部図書館
申込み・お問合せ：豊橋市役所都市計画部まちなか図書館整備推進室

TEL 0532-55-8102 FAX 0532-55-8100

URL machitosh@city.toyohashi.lg.jp

ブックトープ豊橋

まちじゅう図書館プロジェクト



編集：ナカムラクニオ
発行：豊橋市

【まちを“本”にする～ブックトープ豊橋とは～】

「まちを本にしてみよう」そんな発想から生まれたのが“ブックトープ豊橋”。

今回、舞台となったのは、川の上にくつものビルが建ち、その特異な成り立ちと構造から地域に愛される・・・豊橋の名物建築“水上ビル”。

この小説は、まちなか図書館（仮称）の開館前のプレ事業として、荻窪のブックカフェ「6次元」店主ナカムラクニオさんを講師に迎え開催したワークショップ参加者によって執筆されたものであり、実際に水上ビルを探訪して浮かんだイメージを小説化したものである。水上ビル界隈の独特な雰囲気を感じながら読んでほしい。

小説の全文は3月中旬頃、豊橋市ホームページでも公開。詳しくは「ブックトープ豊橋」で検索。

朗読・講師

朗読

豊橋おはなしろうそくの会

素話（ストーリーテリング）による朗読会活動を行う。図書館まつりなどで「おとなのためのおはなし会」を開催。絵本や紙芝居などを使わずに、語り手がことばだけでおはなしを伝えることで、聞き手を想像の世界に誘います。

講師

岩瀬彰利（豊橋市中央図書館 司書）

愛知県豊橋市生まれ。
名古屋大学大学院文学研究科博士課程後期修了、博士（歴史学）。専門は日本考古学。
現在、豊橋市中央図書館専門員（司書）として郷土資料を担当。

小説の舞台になった「水上ビル」水路の上に誕生して50余年。

牟呂用水を塞ぎ、約800メートルにわたって築かれた鉄筋コンクリート造のビルの連なり。

水上ビルの愛称で親しまれるビル群は、昭和39年から40年代初頭にかけて次々と建造された。

土地のないところに建物をつくるという奇想天外な発想は、いまなら到底建築許可が下りるはずもないが、戦後復興期の超法規的措置によって奇跡のように実現し、現代に残っている。



- (1)必要事項を下記様式に記入し、FAX（0532-55-8100）で送付
- (2)QRコードから申し込む
- (3)電話（0532-55-8102）での申込

氏名		

性別	年代	ご職業
ご住所		
〒		
携帯電話（緊急連絡先）		
メールアドレス		

申込期限：平成30年3月20日（火）まで

こちらのQRコードからの申込も可能です。



(PC・スマホ)



(携帯)

応募方法

まちなか図書館について知ろう！



まちなか図書館（仮称）の概要

- ◆ 導入規模 4,000㎡以内
- ◆ 導入予定位置 再開発ビルの東棟2階の一部・3階
- ◆ 蔵書数 10万冊程度（開架を基本）
- ◆ 開館予定 平成33年度中

整備予定地
再開発ビル 東棟2F（一部）・3F

詳しい内容については、ホームページをご覧ください。「豊橋市まちなか図書館（仮称）」で検索